2028年 2月例会 前進座

口上・鳴神



演出＝岡　鬼太郎
美術＝鳥居　清忠
出演＝口上・藤川矢之輔

2月	13:30	18:30
	未	
	定	

歌舞伎のレパートリーの中でも広く知られる人気の一作。鳴神上人は朝廷を恨み、秘法で滝つぼに龍神を封じる。雨が降らず人々は苦しむ。朝廷の差し向けた美しい雲の絶間姫に惑わされた鳴神上人は酔いつぶれ、その隙に姫が秘法を破る。だまされたと知った鳴神上人は……。

SAWARAPIA

2028年 4月例会 青年劇場

三たびの海峡



原作＝帚木蓬生
脚本・演出＝シライケイタ
出演＝吉村　直、広戸　聡
八代名菜子 ほか

3月	13:30	18:30
	未	
	定	

1943年に17歳で強制的に日本に連れて来られ、45年に韓国へ帰った河時根（ハン・シグン）。以来一度も日本を振り返ることはなかったが、ボタ山や炭鉱施設が再開発で消されると聞き、海峡を三たび越えることを決意する。倒れていった仲間のために過去と向き合う。

SAWARAPIA

自分たちで会費を持ち寄り
自分たちで運営する市民劇場

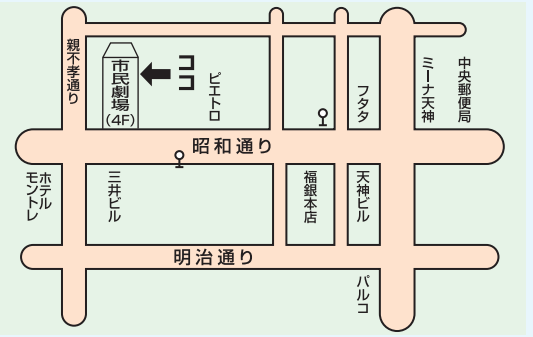
入会のご案内

いま、わたしたちは情報化社会の進行と経済優先の効率主義のなかで、ますます不安が増大し、人間性の喪失にはげしくおびやかされています。しかし、そのような空虚な時代だからこそ、真の美しさ、優しさ、希望、愛情など、人間性の尊厳を高らかに謳う演劇がわたしたちにとってかけがえのないほど大切なのはいうまでもありません。

「自分たちで会費を持ち寄り、自分たちで運営する市民劇場」は、1961年春に創立し、2021年に60周年を迎え、この間に例会にとりあげたお芝居は、内外の古典演劇から現代創作劇にいたるまで、じつに約470本にも及びます。福岡市民劇場は現在会員数約2,900名。毎月2,300円の会費を持ち寄り、年6回の例会（鑑賞会）を催しています。

入会要領

①3名以上でサークルを作って入会
②1年以上は会員として継続すること
③入会金＝大人：2,000円、中高生：1,000円
会　費＝毎月 大人：2,300円、中高生：1,100円



福岡市民劇場
福岡市中央区天神3-4-10
天神西茂ビル4F
TEL 771-8671・FAX 771-9160

会員制演劇鑑賞会

2027年

例会のごあんない

福岡市民劇場



舞台でしか
味わえない感動

2月例会 文学座

オセロー



作＝ウィリアム・シェイクスピア
訳＝小田島雄志
演出＝鵜山　仁
出演＝横田栄司、浅野雅博
石橋徹郎 ほか

シェイクスピアの4大悲劇のひとつ。ムーア人の勇敢な将軍オセローは、ブラバンショーの娘デズデモーナと反対を押し切って結婚する。一方、オセローの忠臣イアーゴは、副官に任命されなかったことで恨みを抱き、巧妙な策略でオセローを破滅へと追い込む。

2月	13：30	18：30
9日(火)		○
10日(水)	○	
11日(木)		○
12日(金)	○	
13日(土)	◉	

◉＝12:30開演

ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

SAWARAPIA

4月例会 前進座

あかんべえ



原作＝宮部みゆき
脚色＝佃　典彦
演出＝松本　祐子
出演＝柳生啓介、山本春美 ほか

ふね屋の一人娘おりんは高熱に倒れて死の淵をさまよい、以来お化けが見えるように…。江戸を舞台に、親子の問題、人間の欲や見栄など現代にも通じる問題を、女の子と5人のお化けという突飛な登場人物たちで描きだす。謎解きミステリーの態で進むところが宮部作品らしい。

4月	13：30	18：30
9日(金)		○
10日(土)	○	
11日(日)	○	
12日(月)		○
13日(火)	◉	

◉＝12:30開演

ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

SAWARAPIA

6月例会 Pカンパニー

5月35日





作＝壮　梅岩
訳＝マギー・チャン／石原　燃
演出＝松本祐子
出演＝春風ひとみ、林　次樹 ほか

天安門事件から30年が経つ節目の年始め。北京に暮らす老夫婦は、ひとり息子の天安門事件での不可解な死を抱えながら、何もせずに生きてきたことへの悔恨に向き合うことを決意。余命わずかな2人は、6月4日すなわち息子の命日に、あの天安門広場で息子を弔おうとする。

6月	13：30	18：30
9日(水)		○
10日(木)	○	
11日(金)		○
12日(土)	○	
13日(日)	◉	

◉＝12:30開演

ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

SAWARAPIA

8月例会 劇団民藝

八月の鯨



作＝ディヴィッド・ベリー
訳・演出＝丹野郁弓
出演＝樫山文枝、日色ともゑ
篠田三郎 ほか

アメリカ、メイン州沿岸の島で鯨の訪れを心待ちにしながら夏を過ごすリビーとサラの姉妹。目の見えなくなったリビーの世話に手を焼くようになったサラに、幼なじみのティシャがリビーを施設に預けようと提案する。ロシアの亡命貴族マラノフの登場で姉妹に微かな波風がたつ。

7月	13：30	18：30
15日(木)		○
16日(金)		○
17日(土)	○	
18日(日)	○	
19日(月)	◉	

◉＝12:30開演

ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

SAWARAPIA

10月例会 劇団東演

どん底



作＝M・ゴーリキー
訳(ロシア版)＝佐藤史郎
演出・美術＝V・ベリャコーヴィッチ
O・レウシン
出演＝豊泉由樹緒、能登　剛
奥山　浩、島　英臣
ロシア人俳優 ほか

吹き溜まりのような地下の安宿。そこには行き場のない人間たちがうごめいている。いかさま賭博師にアル中の役者、娼婦にコソ泥たちと、宿の主人とのひと悶着が毎日のように起こる。巡礼のルカが新たにやってきて人生の希望を語り、よりよく生きることを説いて回るのだった。

9月	13：30	18：30
26日(日)		○
27日(月)	○	
28日(火)		○
29日(水)	○	
30日(木)	◉	

◉＝12:30開演

ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

SAWARAPIA

12月例会 俳優座劇場

音楽劇 母さん



作＝堀江安夫
演出＝横山由和
音楽＝新垣　雄
出演＝土居裕子、阿部　裕
町屋圭祐、畠中　洋 ほか

詩人の八郎は息子の反抗に手を焼く。しかし彼も放蕩な父のために母と別居することになった十代のころ警察沙汰を繰り返し中学を退学。母親に助けを求めるがかなわず、「あんたがおれを捨てたからだ」と言い放つ。すれ違った思いのまま八郎が22歳の時に母はこの世を去る。

11月	13：30	18：30
26日(金)		○
27日(土)	○	
28日(日)	○	
29日(月)		○
30日(火)	◉	

◉＝12:30開演

ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

SAWARAPIA